

計-48
588

電子複写不可



昭和八四四〇八六九

パラワン憲兵分隊終務書類綴



防衛研究所戦史部

秘報

比憲高第二六九號

發	軍司、軍監、同支部、治安部、報道部
送	荒木、河野、三上、生田各部隊
先	寫隊下乙

昭和一八年四月二十一日
 (デガスビー憲兵報)

情報

「ピコール」地方敗殘匪ハ我軍ヲ誹謗シ投降ヲ拒否ス

原物入手
 確度 甲

四月二十一日北「カマリネス」州「バト」町市場ニ貼布セル「ピコール」地方「ゲリラ」隊司令官名ヲ以テスル抗日宣傳文(英文タイプ刷)内容ハ「大日本軍ニ告ク」ト題シ

「日本軍ハ我々ヲ盜賊ト罵倒シ降伏ヲ奨メアルモ「ゲリラ」隊ハ米國ニヨリ認めラレ侵略者ニ抗スル崇高ナル事業ニ参加セルモノナリ

諸君ガ我々兄弟ノ集中的統一カラ解散シタ事ハ事實デアル然レニ
 一體ドレダケノ値打ガアルカ諸君ハ彼等ニ諸君ヘノ天皇ヘノ忠誠ヲ強
 ヒ又奮ヘト強ヒナカツタカ過重ナ致命的ナ状態ヲ彼等ニ押シツケオカ
 ツタカ乞フ諸君自身ヲ今我々ノ立ツテ居ル立場ニ置イテ見ヨ
 我々ガ日本ノ侵略者デアリ諸君ガ爲シタ同様ノ取扱状態ヲ強要シタト
 シテ見ヨ

我々ノ主義ハ我々ニトツテ諸君ガ其ノ時ニノゾミ恐ラクハ斯クアロウ
 ト想像スルヨリモ更ラニ崇高ナルモノデアル
 諸君ハ信義ナキ風珠灣攻撃ヲナスコトニ依ツテ侵略ヲ開始シタ諸君ハ
 四方ニ向ヒ大聲デ呼ンダ「アジア」人ノ爲ノ「アジア」ヲ建設スベキ
 崇高ナル使命ヲ誓約シタト 何故諸君ハ眞實ヲ言ハナイカ日本ノ爲ノ

「アジア」ヲ創造スベク戦ツテ居ルノ下何故ナレ其レガ諸君ソ本當
 ノ使命ダ政治的ナシテ出來ル限リ經濟的ニ諸君ハ帝國主義ニ依ツテ
 行ハレタ是ハ戰爭チアル

諸君ハ「アジア」ガ「アメリカ」諸君ニ對シ外交的經濟的共榮圖ヲ強要シ
 タ結果ガ「バルバリー」攻撃ノ總解ノ爲メニハ誤リタラケノ努力ヲシ
 テキル尙諸君ハ決シ事ヲ忘レテハナラオ此處數年諸君ハ諸君ハ政
 治ト野望アル命令力ノ模範トシテ形成シタ諸君ハ諸君ハ必要ナル戰爭
 資材ヲ蓄積シ積化スル諸君ハ敵カ待ツテキテ呉レルト期待スルコ
 トガ出來ルカ

以前未ダ諸君ガ「フィリッピン」ノ海岸ニ止ラザル頃ハ「カシウツビ
 シ」ノ民衆ハ共和的ニ生活組織ト必然的利益ヲ以テ缺點ヲ抹消シテ

キタ建設的試験ノ改良ノ年ヲ経タ後ナルモノヲ諸君ハ力シテ根絶シ
 政府及疑惑ト共ニ見出シタ處ノ物ヲ以テ其レニ代用シ様ト試ミタ
 其ハ脅迫デアリテロデアリ處待デアリ探偵デアアル諸君ハ目下使用シテ
 キル處ノ惡イ主義ヲ持ツ軍隊デアアル
 民衆ガ諸君ヲ心カラ受入ル事ソ出来ナイノハ當然デアアル彼等ハ且チ民
 衆ノ自由ト正義ガ守ラレ保證サレテキタ良キ政府ノ樂シミヲ見テキル
 ノダ

諸君ハ「フイリツピン」ニ在住スル日本人ニ以前ノ政府ハドウデアツ
 タカラ奪ネルコトガ出来ルカ
 諸君ノ軍隊ガカツテ抵抗ヲ受ケタ諸地方ニ前進シタ時ノ諸君ハ我國ノ
 婦人ヲ辱メタ公衆ニ等ネテ見ヨ侍ニ「ブラカン」州「バヌバング」

民衆ニ 諸君ハ我々ニ心カラ協力セヨト奨メル然シ諸君ハ我々ガ我々
 ヲ擁護シ我々ノ國ノ旗ト同様シモノヲ我々ノ旗ト守ルモノト見テ我々
 ヲ爲ニ守ルモノナル義務ト約束ヲ諸君ニ劣ラザル勇氣ヲ以テ守リ守リ
 ル 諸君ハ米軍ガヤツテ来ナイト言フガ其ノ可能ハ打消ス事ハ出来ヌ
 ドウシテ「アメリカ」軍ガ返ツテ来ル事實ヲ動ス事ガ出来ルカ諸君
 我々ノ守ルト誓ツタ主義ニ對シテ衷切者トシテノ濡衣ヲ着セタイツカ
 今諸君ガ成シ得ル最善ノ道ハ「フイリツピン」ヲ去ル事デアアル若シ
 フイリツピン一人ガ蜂起シテ我々ニ何故去ラナイカ？
 我々ノ見ル自ラハ諸君ハ「フイリツピン」人ノ信賴ヲ完全ニ離キオホ
 ゼル時機ハナイ何故ナラ諸君ハ此處ニ到着シテ疑問特ニ「フイリツ

「ペン」人ノ抵抗ヲ受ケタ時諸君ノ私利ヲ暴露シタ諸君ノ軍政部ハ「ワ
 イリツピン」ノ「コンモンウエルス」我々ニ與ヘタ其レヨリ良キ政治
 ドコロカ同程度ノ政治スラ與ヘル事ハ出来ナイ……

「ファイリツピン」人ハ彼自身ノ國ノ名譽ヲ持ツテキルンシテ諸君ハ我
 ノ事ヲ理解シナクテハナラナイ我々ハ氣質トシテ偏見ヲ見過ス事ハ出
 來ナイ斯クノ如クシテ諸君ハ罪ナイ民衆ヲ引留メ苦痛ヲ與ヘテ尙若氣
 ノ遊ビヲ續ケルダロウ

我々ノ信義ハ前進スル何故ナラ「ファイリツピン」人ノ魂ハ我々ト共ニ
 在ル我々ハ諸君ノ行政方法ヲ近クニシテ監視シテキル諸君ハ連日連夜
 日本ノ諸都市ガ爆撃サレ諸君モ又凡テニ於テ日本ニ勝ル「アメリカ」
 ニ對シ近ク降服スルト云フ事ヲ知ツテキルダロウ

「ピコール」地區「ゲリテ」隊司令官

フオスチノ エム フロール大佐

米軍鷹兵營指揮官

ジュリアン、アレバロ 中尉